

氏名	衣 笠 和 孜
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1645 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和61年 3 月31日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学 位 論 文 題 目	大脳の血管閉塞に関する実験的研究 — 犬における中大脳動脈血管閉塞後の microangiography 所見と病理組織学的所見について —
論 文 審 査 委 員	教授 大月三郎 教授 栗井通泰 教授 寺本 滋

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

中大脳動脈起始部閉塞による血行動態，病理組織学的変化について成犬を用いて実験的に検討した。

- 1) 雑種成犬25頭に対して，新しく考案した経眼窩手術法で，中大脳動脈起始部を閉塞することができた。この方法は脳梗塞モデル作成に有用な方法と思われる。
- 2) 閉塞後 4 日～7 日の microangiogram で造影剤の血管外漏出，血管増生がみられ，おもに中大脳動脈穿通枝の支配領域の梗塞巣に一致していた。
- 3) 亜急性期の血管増生の出現する時期での血流再開は出血性梗塞出現の可能性が高いと考えられる。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は中大脳動脈起始部閉塞による血行動態と病理組織学的変化について，犬を用いて実験的に研究したものである。脳梗塞モデルを経眼窩手術法により作成する新しい方法確立し，閉塞後の病巣の成因について重要な知見を得たものであり，価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。